学校番号	３２４

平成３１年度　公民科

教科	公　民	科目	倫　理	単位数	2	年次	1
使用教科書	「高等学校　現代倫理　最新版」　（清水書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・私たちは何者か、生きるとは何か、を考える。
・人間としての生き方を先人に学ぶ。
・何をなすべきか、いかに生きるべきかという問題を自らに提起し、解決のため試行錯誤する。

2　学習の到達目標

・古典や諸資料に親しみ、読み解き、思考力と活用技能を培う。
・現代の諸課題を多角的、多面的に考察することができる。
・他者とともに生きる主体としての自己確立を促し、公民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	青年期における自己形成に関心を高め、自らを高める意志を持ち、他者とともに生きる主体としての自己確立をめざす。	古典や諸資料を通じて、先人の知恵に学ぶとともに、多角的に考察し、他者と比較しい、自己を客観視することにより、広い視野に立って判断する力を養う。	青年期や、現代社会における倫理上の諸課題を新聞等のマスメディアやインターネットなどを通じて複数の情報源から収集し、比較、考察することにより資料活用技術を養う。	教科書、資料を通じて、歴史上に現れた思想・文化についての基本的な事柄を学び、身につける。また、他者との考え方の比較を行うことにより、自己の理解を深めていく。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 レポート 報告会での発表内容	〔主題学習〕 レポート	〔主題学習〕 内容のまとまり
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代に生きる自己の課題	1 人生の中の青年期 2 自分をみつめる 3 社会を生きる	○	○ ○	○ ○	○	a:自己の体験などを通して意欲的に考察し、自己形成への関心を高めようとしている。 b:青年期の意義や課題を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:青年期の現状と課題について、マスメディアなどから諸資料を収集し、有用な情報を選択して図表などにまとめたりしている。 d:青年期の諸課題についての基本文献や資料を読み、その知識を身に付けている。	ワークシート
	哲学と宗教の源流	・古代ギリシアの思想 ・唯一神の宗教(ユダヤ教・キリスト教・イスラーム)	○	○	○	○	a:よく生きることの探究を自己の生き方と結びつけて学ぼうとしている。 b:よく生きることの探究を自己の課題と照らし合わせて適切に判断し，結果を適切に表現できる c:諸資料を適切に読み，情報を選択して活用している。 d:ギリシア思想や宗教を自己の生き方にかかわるものとして理解している。	定期考査 ワークシート
	東洋思想を学ぶ	・古代インド思想と仏教 ・中国思想(儒教・儒学・老荘思想)	○	○	○	○	a:東洋思想の人生観などと自己の生き方を結びつけて学ぼうとしている。 b:東洋思想を自己の生き方に照らし合わせて考察し表現できる。 c:諸資料を適切に活用して考察している。 d:東洋思想を人間の生き方と結びつけて理解している。〃	定期考査 ワークシート

2学期	日本思想を学ぶ	・日本の自然と風土 ・日本神話と神道 ・仏教の伝来 ・平安時代の仏教 ・鎌倉時代の仏教 ・儒教の受容と朱子学 ・朱子学への批判と新展開 ・国学 ・庶民の道徳	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a:日本の古代の倫理観と古来の伝統である神道や外来思想である仏教・儒教と原点回帰とも言うべき国学などを，自己の生き方と結びつけて学ぼうとしている。 b:日本の古代の倫理観と古来の伝統である神道や外来思想である仏教・儒教と原点回帰とも言うべき国学などを自己の生き方に関連づけて考察し，適切に表現できる。 c:諸資料を適切に活用できる。 d:日本の古代の倫理観と古来の伝統である神道や外来思想である仏教・儒教と原点回帰とも言うべき国学などを理解している。	定期考査 ワークシート
	近代思想を学ぶ	・ルネサンス ・宗教改革 ・近代科学の成立 ・カント ・ヘーゲル ・社会主義 ・実存主義 ・プラグマティズム ・フェミニズム	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:近代の諸思想・近代精神を自己とのかかわりで学ぼうとしている。 b:近代思想の求める幸福や正義を多角的に考察し，表現できる。 c:碩学の著作物に目を通し、諸資料を適切に活用している。 d:人間がよりよく生きるという観点から、近代思想の基本的内容を理解している	定期考査 ワークシート

3学期	現代思想を学ぶ	・他者との間に生み出される世界 ・無意識と言語 ・人間主体を取り巻く構造と権力 ・理性の立て直しと公共性の追求 ・フェミニズム ・民主主義と公正の両立	 ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	a:近代思想の見直しについて，現代の倫理的課題と結びつけて理解しようとしている。 b:近代思想の見直しを自己の課題と結びつけて考察し，表現できる。 c:諸資料を活用している。 d:現代思想を近代的人間観，社会観の見直しとして理解できる。〃	定期考査 ワークシート
	持続可能な社会への展望	〔主題学習〕 ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	 ○ 	 ○ 	 ○ 	 ○ 	a:現代の諸課題を、自らの生活に結び付け、現実に根ざした姿勢に基づいて意欲的に追究しようとしている。 b:現代の諸課題を、自らの生活に結び付け、現実に根ざした姿勢に基づいて考察し、適切に表現している。 c:現代の諸課題を、自らの生活に結び付け、現実に根ざした姿勢に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。